

広島市子どもの読書活動推進計画（第三次）の推進状況（平成29年度）

計画の目的

「本と出会い・楽しみ・豊かに生きる」

子どもが本と出会い、読書の楽しさにふれながら、ことばの力や「教養・価値観・感性」等を身に付け、自ら考え、判断し、豊かに生きていくために、あらゆる機会とあらゆる場所において、子どもが自主的に読書活動を行うことができる環境の整備を推進することを目的とする。

計画期間

平成28年度～平成32年度（5年間）

1 目標

図書館、学校等で「本を読むきっかけの提供」や「本を読むことの習慣化」に取り組み、自主的に読書をする子どもを増やします。

目標		昨年度の状況 (平成28年度実績)	推進状況 (平成29年度実績)	目標値 (目標年度：平成32年度)	担当課
1か月に1冊以上読書 する子どもの割合 ※1	小学校5年生	89.0%	89.5%	93.8%	指導第一課 指導第二課
	中学校2年生	81.1%	83.5%	87.3%	
学校の授業時間以外 に、普段(月～金曜日)、 読書をする子どもの割合 ※2	小学校6年生	79.1%	79.5%	84.7%	
	中学校3年生	67.4%	67.6%	74.1%	

- ※1 「基礎・基本」定着状況調査（広島県教育委員会実施）による数値。目標値は、第二次計画の目標値（第56回学校読書調査（全国学校図書館協議会・毎日新聞社実施）の全国平均値）とする。
- ※2 全国学力・学習状況調査（文部科学省実施）による数値。目標値は、過去の平均伸び率を乗じて設定する。

2 重点施策

(1) 図書館における重点施策の推進状況

重点施策	昨年度の状況 (平成28年度実績)	推進状況 (平成29年度実績)	目標値 (目標年度：平成32年度)	担当課
青少年向けの 図書の展示会 の実施	図書館での展示回数 11館で13回	図書館での展示回数 11館で15回	図書館での展示回数 各館年1回以上	中央図書館 こども図書館 (生涯学習課)
家庭読書アド バイザー※3の 派遣	派遣回数36回 (家庭読書アドバイザー15名)	派遣回数48回 (家庭読書アドバイザー24名)	派遣回数45回	こども図書館 (生涯学習課)
DAISY（デ イジー）図書※4 の整備	DAISY図書・マルチメディアDAISY図書の蔵書冊数182タイトル	DAISY図書・マルチメディアDAISY図書の蔵書冊数188タイトル	DAISY図書・マルチメディアDAISY図書の蔵書冊数180タイトル	中央図書館 (生涯学習課)

- ※3 参観日などの機会に幼稚園・保育園・認定こども園等に出向き、読書の意義や楽しさ等を保護者に伝えるボランティアのこと。
- ※4 視覚障害者や普通の印刷物を読むことが困難な人向けに作るデジタル録音図書のことで、パソコンで専用ソフトを利用して再生する。マルチメディアDAISYは、文字情報や画像も同時に再生できる。

(2) 学校における重点施策の推進状況

重点施策	昨年度の状況 (平成 28 年度実績)	推進状況 (平成 29 年度実績)	目標値 (目標年度：平成 32 年度)	担当課
読書活動の全体計画・年間指導計画の活用・見直し	見直しをした学校の割合 小学校 100 % 中学校 100 % 高等学校 100 %	見直しをした学校の割合 小学校 100 % 中学校 100 % 高等学校 100 %	全ての小・中・高等学校で現計画を活用し、毎年見直しを行う。	指導第一課 指導第二課
本を読む力を育てる指導の充実	様々な本や資料を基に自分の考えをもたせる指導をしている学校の割合※5 小学校 85.8 % 中学校 92.2 %	様々な本や資料を基に自分の考えをもたせる指導をしている学校の割合※5 小学校 88.0 % 中学校 92.2 %	全ての小・中学校で様々な本や資料を基に自分の考えをもたせる指導を行う。	指導第一課 指導第二課
「10 オフ運動※6」と連携を図るなど家庭と連携した読書活動の推進	全ての小・中学校にリーフレットを配布し、家庭における読書習慣の定着について奨励する。	全ての小・中学校にリーフレットを配布し、家庭における読書習慣の定着を奨励した。	全ての小・中学校で、リーフレットの活用等により読書効果を周知し、家庭での読書を促す。	育成課 指導第一課 指導第二課

※5 「基礎・基本」定着状況調査学校質問紙調査（広島県教育委員会実施）による数値。

※6 携帯電話・スマートフォン等の急速な普及や無料通信アプリの浸透等により、長時間使用による生活習慣の乱れや新たないじめなどの問題が台頭するとともに、家族とふれあう機会や自宅で学習や読書をする時間が減少している状況にあることから、規則正しい生活習慣の定着を図ることを目的として、遅くとも夜10時までには使用をやめるなどの携帯電話・スマートフォン等の適切な使用を促進する取組を展開するもの。

(3) 関係機関の連携・協力における重点施策の推進状況

重点施策	昨年度の状況 (平成 28 年度実績)	推進状況 (平成 29 年度実績)	目標値 (目標年度：平成 32 年度)	担当課
図書館と学校・学校図書館の連携・協力	図書館と連携した活動※7を行っている学校の割合 小学校 80.9 % 中学校 65.6 % 高等学校 100 %	図書館と連携した活動※7を行っている学校の割合 小学校 85.2 % 中学校 65.6 % 高等学校 100 %	全ての小・中・高等学校で図書館と連携した活動を行う。	中央図書館 こども図書館 指導第一課 指導第二課 (生涯学習課)

※7 図書館訪問、職場体験学習、学校への蔵書・資料等の貸出や出前事業（おはなし会等）等のこと。